

小学4年

国語

書いた文章をととのえる

まちがいを直し、相手と目的に合っているかをたしかめる

自分で考えて書きましょう。わからないときは、QRコードで動画の場面を見よう。

- ① 畑で お世話になった 農家の 人へ、お礼の 手紙を 書きます。相手に 合う 書き方は、ア「ありがとう。また 行くね。」、イ「ありがとうございました。また 行きたいです。」、ウ「ありがとう。また 行って あげる。」の どれですか。



動画で見る
場面 3
「相手に合っているか」

- ② 「わたしの ゆめは、花屋さんに なりたいです。」を、主語と 述語が 正しく つながるように 直しましょう。



動画で見る
場面 2
「まちがいを直す」

- ③ クラスの 友だちに 本を おすすめの 文章を 書きました。下書きの「この 本を 読んでも よいです。」を、すすめる 目的に 合うように ととのえます。ア「この 本を 読みました。」、イ「ぜひ、この 本を 読んで みてください。」の どちらが よいですか。



動画で見る
場面 4
「目的に合っているか」

書いた文章をととのえる

まちがいを直し、相手と目的に合っているかをたしかめる

- ① 畑で お世話に なった 農家の 人へ、お礼の 手紙を 書きます。相手に 合う 書き方は、ア「ありがとう。また 行くね。」、イ「ありがとうございました。また 行きたいです。」、ウ「ありがとう。また 行ってあげる。」の どれですか。

ヒント 読むのは、お世話に なった 大人です。文の 終わりを くらべよう。

答え イ「ありがとうございました。また 行きたいです。」です。相手は お世話に なった 大人なので、文の 終わりを「です」「ました」の ていねいな 形に します。ア は 友だちに 話す ような 書き方、ウの「行って あげる」は お礼を 伝える 相手に 合いません。

- ② 「わたしの ゆめは、花屋さんに なりたいです。」を、主語と 述語が 正しく つながるように 直しましょう。

ヒント 「ゆめは」と「なりたいです」だけを つなげて 読んで みよう。

答え 「わたしの ゆめは、花屋さんになる ことです。」です。主語の「ゆめは」に 合わせて、述語を「なる ことです」に します。「わたしは、花屋さんになりたいです。」と 直しても 正しく つながります。

- ③ クラスの 友だちに 本を すすめる 文章を 書きました。下書きの「この 本を 読んでも よいです。」を、すすめる 目的に 合うように ととのえます。ア「この 本を 読みました。」、イ「ぜひ、この 本を 読んで みて ください。」の どちらが よいですか。

ヒント 何の ために 書く 文章かを 思い出そう。

答え イ「ぜひ、この 本を 読んで みて ください。」です。すすめる ために 書くので、「読んで みて ください」と よびかける 文の 終わりに すると、気持ちが 伝わります。